

<p>事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p>事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>							
<p>1 信州ACE(エース)プロジェクト推進事業費(一部再掲) [050601][051101]</p>	<p>県民の健康課題を「見える化」し、保険者(市町村、協会けんぽ等)や企業経営者と共有して、保険者の保健事業や企業の健康経営を支援します。また、県民の生活習慣の改善に向け、運動、健診、食に係る徹底的な情報発信と健康づくりへの行動変容を促す取組を強化します。</p> <p>(新)1 健康課題まるごと「見える化」「気づき」プロジェクト KDB(国保データベース)等の活用により、医療費や健診データ等を市町村別に分析し、地域の健康状態の「見える化」と、県支援チームが市町村のデータ分析や事業評価の支援をすることで、市町村の保健事業の効果的、効率的な実施を促進</p> <p>(新)2 働き盛りの健康づくり支援事業 協会けんぽ等の保険者と協働し、スマホアプリを活用した働き盛り世代対象の参加型ウォーキング『事業所対抗「学んで」「歩く」90日!』を県内全域で実施、これと連動して当該世代の家族を対象にした、市町村による運動習慣定着の取組を支援</p> <p>(拡)3 信州ACE(エース)プロジェクト普及・発信事業 効果的な健康づくりに取り組んだ企業を「ACEフォーラム」(県民大会)で表彰し、県民に「見える化」して発信するほか、若者や働き盛り世代に向け、具体的な健康づくりの取組手法をSNSを活用して普及、発信</p> <p>(新)4 ACE(エース)健康ポイント制度研究事業 県民の健康意識を喚起するとともに、健康づくりの取組とその継続を下支えするため、市町村や保険者等とともに健康ポイント制度を研究し、モデル事業を試行</p> <p>(拡)5 健康ボランティア活動強化事業 管理栄養士等を目指す県内大学生が地域の食と健康課題等について学ぶため、栄養士会、食生活改善推進員と交流する場を創出するほか、食生活改善推進員の実践活動を強化する研修会等を実施</p> <p>(拡)6 健康に配慮した食環境整備事業 健康に配慮したメニューや弁当を選択できる環境整備の促進、県内大学生等がSNSを活用して健康に配慮した食生活について情報発信</p> <p>(新)7 信州ACE(エース)プロジェクトEat普及啓発キャンペーン 生活習慣病予防のための野菜摂取の重要性について集中的な啓発を行うとともに、行動変容につなげるための具体的な取組方法を発信</p> <p>(新)8 ライフステージ別課題に応じた生活習慣改善実践事業 「若者・子育て世代の食生活への意識の低さ」や「65歳以上女性の低栄養傾向」など、ライフステージ別の健康課題を地域ごとに取り上げ、健康に配慮した食生活や適切な栄養摂取の取組を実践</p> <p>9 患者のための薬局ビジョン推進事業 県民の主体的な健康の維持・増進のため、県薬剤師会と連携し、薬局における健康サポート機能を強化</p>							
<p>健康増進課 薬事管理課</p>	<p>*糖尿病性腎症重症化予防の取組を行う市町村数:50(2016年度)→77(2018年度) *健康づくりのために運動に関する取組を行っている者の割合: 67.5%(2016年度)→68.4%(2018年度) *特定健診受診率:52.5%(2014年度)→56.0%(2018年度) *健康づくりのために食生活に関する取組を行っている者の割合: 84.1%(2016年度)→84.5%(2018年度)</p> <table border="1" data-bbox="539 2056 1500 2112"> <tr> <td data-bbox="539 2056 802 2112">H30予算</td> <td data-bbox="802 2056 1050 2112">18,828</td> <td data-bbox="1050 2056 1262 2112">H29当初</td> <td data-bbox="1262 2056 1500 2112">14,397</td> </tr> </table>				H30予算	18,828	H29当初	14,397
H30予算	18,828	H29当初	14,397					

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>							
<p>2 歯科保健総合推進対策事業費(一部再掲) [050701]</p> <p style="text-align: right;">保健・疾病対策課</p>	<p>信州保健医療総合計画に基づき、8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりに関する取組を総合的に推進します。</p> <p>(新)・オーラルフレイル対策(口腔の虚弱予防)の推進 (新)・歯科医療従事者認知症対応力向上研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健推進センターの運営 ・歯科保健推進県民会議の開催 ・県民よい歯のコンクールの開催 ・在宅歯科医療連携室の運営 ・フッ化物応用の推進 <p>*80歳で20本以上自分の歯を持つ者の割合:41.3%(2016年度)→50%(2023年度) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">10,558</td> <td style="width: 25%;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">10,204</td> </tr> </table>				H30予算	10,558	H29当初	10,204
H30予算	10,558	H29当初	10,204					
<p>【新】</p> <p>3 フレイル予防総合推進事業費 [050601][050701][050801]</p> <p style="text-align: right;">健康増進課 保健・疾病対策課 介護支援課</p>	<p>フレイル(加齢とともに筋力や認知機能等が低下し、生活機能障害・要介護状態などの危険性が高くなった状態)について、医療・介護の専門職や関係者等がフレイル予防の重要性を理解し実践活動に活かすとともに、市町村の取組を支援することでフレイル予防を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県版」人材育成研修プログラムの開発と普及 ・オーラルフレイル対策(口腔の虚弱予防)の推進 ・介護予防推進モデル事業の実施 <p>*健康づくりのために運動に関する取組を行っている者の割合: 67.5%(2016年度)→68.4%(2018年度) *健康づくりのために食生活に関する取組を行っている者の割合: 84.1%(2016年度)→84.5%(2018年度) *要介護(要支援)認定率の全国順位(低い順)※調整済み認定率: 全国2位 14.6%(2017年3月)→全国上位維持(2019年3月)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">1,483</td> <td style="width: 25%;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">0</td> </tr> </table>				H30予算	1,483	H29当初	0
H30予算	1,483	H29当初	0					
<p>4 自殺対策推進事業費(一部再掲) [050704][051003]</p> <p style="text-align: right;">保健・疾病対策課 食品・生活衛生課</p>	<p>誰も自殺に追い込まれることのない信州を実現するため、市町村、関係機関、民間団体等と連携し、社会的な取組として自殺対策を推進します。</p> <p>(新)・困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業の実施 (拡)・弁護士会と連携した「くらしと健康の相談会」の開催 (拡)・地域の自殺対策で重要な役割を果たす人材養成のための研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間(9/10~16)及び自殺対策強化月間(3月)を中心とした普及啓発の実施 ・精神科医と内科医等のかかりつけ医による連携検討会の実施 ・自殺対策に取り組む市町村、民間団体等に対する助成 ・自殺未遂者支援を行う救急告示医療機関等に対する助成 ・「長野県自殺対策推進センター」における支援体制の整備 <p>*自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数):16.5(2016年)→15.5以下(2018年)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">59,269</td> <td style="width: 25%;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">53,961</td> </tr> </table>				H30予算	59,269	H29当初	53,961
H30予算	59,269	H29当初	53,961					

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>			
<p>5 地域医療介護総合確保事業費(一部再掲) [050301][050302][050304][050401] [050501][050502] [050701][050702][050704] [050801] [051101]</p>	<p>地域において効率的かつ質の高い医療提供体制及び地域包括ケアシステムを構築するため、必要な施設・設備の整備や人材の確保・養成を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病床機能分化・連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報連携のための地域医療ネットワーク構築の経費を助成 ・回復期病床への転換や医療提供体制が脆弱な分野を強化する医療機関の施設整備等を支援 2 在宅医療推進事業 <ul style="list-style-type: none"> (拡)・在宅医療や看取りを実施・支援している医療機関及び当番制による在宅看取り体制を構築・運営する郡市医師会に対する支援 ・人生の最終段階における患者の意思を尊重した在宅医療を推進するためのコーディネーターの配置経費を助成 ・看護師の資質向上研修や相談等の支援窓口の設置 3 介護施設等整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型施設の整備費を助成 ・特別養護老人ホーム等の円滑な開設に必要な経費を助成 4 医療従事者確保事業 <ul style="list-style-type: none"> (新)・医師確保の取組の総合的な実施により、地域の拠点病院への医師の集約に努め、拠点病院が医師不足病院を支援するネットワークを構築 ・医学生修学資金貸与者等のキャリア形成や産科医等に支給する手当に対し支援 (新)・訪問看護師が医師の判断を待たずに行える特定行為の研修受講に係る経費に対し支援 (新)・定年退職者など豊富な経験を有する看護職員(プラチナナース)の再就業に向けた研修やマッチングを実施 ・勤務環境マネジメントシステムを導入する医療機関を支援 5 介護従事者確保・養成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・求職者のマッチングと資格取得費用の助成 ・認証評価制度による事業者に関する情報提供の充実 ・24時間在宅ケアの仕組みづくりのためのモデル事業を実施 ・福祉・介護職員への生涯研修 (新)・介護ロボットの導入支援 ・施設内保育所への運営費助成 			
<p>健康福祉政策課 医療推進課 医療推進課医師確保対策室 地域福祉課 保健・疾病対策課 介護支援課 薬事管理課</p>	<p>*在宅での看取り(死亡)の割合: 全国5位 22.9%(2016年)→全国トップクラスを維持(2020年) *人口10万人当たり医療施設従事医師数:226人(2016年)→250人以上(2022年) *介護職員数:3.4万人(2014年度)→3.6万人(2018年度) (地域医療介護総合確保基金活用事業)</p>			
	<p>H30当初</p>	<p>2,171,009</p>	<p>H29当初</p>	<p>3,348,599</p>

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>							
<p>6 小児・周産期医療体制整備事業費 [050701]</p> <p style="text-align: right;">保健・疾病対策課</p>	<p>地域における小児・周産期医療を確保するため、医療機関の連携を図り、患者の症状に応じた対応が可能な医療提供体制を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急電話相談事業(#8000)の実施 ・小児初期救急医療センターへの運営費の補助 ・小児救命救急センターへの運営費の補助 ・小児の在宅医療連携事業を実施する医療機関への補助 ・周産期医療連絡協議会の開催 ・周産期母子医療センターへの運営費の補助 <p>*小児救急電話相談(#8000)に納得した割合: 96.4%(2016年度)→90%以上(2018年度) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">321,693</td> <td style="width: 25%;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">320,671</td> </tr> </table>				H30予算	321,693	H29当初	320,671
H30予算	321,693	H29当初	320,671					
<p>7 国民健康保険運営安定化等事業費(一般会計) [050201]</p> <p style="text-align: right;">健康福祉政策課 国民健康保険室</p>	<p>2018年度から、新たに県が市町村とともに国民健康保険の運営を担うため、国民健康保険特別会計を設置するとともに、一般会計からも所要の経費を繰り出し、安定的な財政運営や効率的な事業の確保を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保険基盤安定負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・低所得者等の保険料(税)軽減措置に対する費用負担 (新)2 国民健康保険特別会計繰出金 <ul style="list-style-type: none"> ・高額な医療費による財政リスク軽減に要する費用の繰出 ・県及び市町村の財政の安定化に要する費用の繰出 ・特定健康診査、特定保健指導の実施に要する費用の繰出 ・国民健康保険の保険者として県が実施する事業に要する費用の繰出 <p>(注)H29当初の金額には、2018年度に特別会計に移行する財政安定化基金事業費(3,113,419千円)を含んでいます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">18,035,258</td> <td style="width: 25%;">H29当初(注)</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">20,290,579</td> </tr> </table>				H30予算	18,035,258	H29当初(注)	20,290,579
H30予算	18,035,258	H29当初(注)	20,290,579					
<p>8 福祉医療費給付事業費 [050102]</p> <p style="text-align: right;">健康福祉政策課</p>	<p>2018年8月から中学校卒業までの子どもの医療費について現物給付方式を導入し、医療費の窓口負担を軽減します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福祉医療費給付事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が行う乳幼児等、障がい者、ひとり親家庭等の医療費自己負担分の給付に要する費用に対して補助金を交付(補助率1/2) (新)2 国民健康保険特別会計繰出金 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業までの子どもの医療費の現物給付化により生じる国民健康保険国庫負担金等の減額調整額相当額を繰出 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4,389,740</td> <td style="width: 25%;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">4,365,195</td> </tr> </table>				H30予算	4,389,740	H29当初	4,365,195
H30予算	4,389,740	H29当初	4,365,195					

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>											
<p>9 医師確保等総合対策事業費 [050401]</p> <p>医療推進課 医師確保対策室</p>	<p>医師の確保・定着と偏在解消を図るため、信州医師確保総合支援センターを中心とした研修医・医学生等へのキャリア形成支援や産科医を増やす取組等を行います。</p> <p>1 信州医師確保総合支援センター事業 即戦力医師の確保、医学生修学資金貸与者のキャリア形成の支援等</p> <p>2 医学生修学資金等貸与事業 将来、県内の医療機関に勤務しようとする医学生等を対象に修学資金等を貸与</p> <p>(新)3 地域医療人材ネットワーク構築支援事業 医師確保の取組の総合的な実施により、地域の拠点病院への医師の集約に努め、拠点病院が医師不足病院を支援するネットワークを構築</p> <p>4 産科医等確保事業 産科医、産科医療機関等を確保するため、産科医等に支給する手当への支援や県外医師への情報発信を実施</p> <p>*人口10万人あたり医師数:226人(2016年)→250人以上(2022年) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">527,682</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">516,757</td> </tr> </table>				H30予算	527,682	H29当初	516,757				
H30予算	527,682	H29当初	516,757									
<p>10 看護職員確保対策事業費 [050304]</p> <p>医療推進課</p>	<p>看護職員を確保するため、看護職員の新規養成及び県内就業の定着・促進を支援します。</p> <p>(新)・訪問看護師が医師の判断を待たずに行える特定行為の研修受講に係る経費を支援</p> <p>(新)・定年退職者など豊富な経験を有する看護職員(プラチナナース)の再就業に向けた研修やマッチングを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間等の看護師等学校養成所(11校)に対して運営費を助成 ・看護師等学校養成所の学生を対象に修学資金を貸与 ・病院内保育所の運営費に対して支援 <p>*人口10万人あたり就業看護師数:1329.6人(2015年)→1389.7人(2018年) *病院に勤務する常勤の看護職員の離職率: 9.1%(2015年度)→8.8%以下(2018年度) *県内看護師等学校養成所新卒者の県内就業率(進学者を除く): 81.9%(2016年度)→82.1%(2018年度) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">952,915</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">946,696</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[債務負担行為額]</td> <td style="text-align: center;">[4,149]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				H30予算	952,915	H29当初	946,696	[債務負担行為額]	[4,149]		
H30予算	952,915	H29当初	946,696									
[債務負担行為額]	[4,149]											
<p>11 がん対策総合推進事業費 [050702]</p> <p>保健・疾病対策課</p>	<p>がん対策を推進するため、がんの予防、早期発見から医療、緩和ケア、就労支援まで広範にわたる対策を総合的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の実態把握、予防、医療の向上を目的としたがん登録の実施 ・がん診療連携拠点病院等への機能強化を目的とした補助 ・緩和ケア研修会の実施 ・社会保険労務士による就労相談 ・がん予防や検診に関する普及啓発の実施 <p>*がん検診受診率(5大がんの単純平均):47.7%(2016年度)→50%(2023年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">156,360</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">173,645</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[債務負担行為額]</td> <td style="text-align: center;">[1,398]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				H30予算	156,360	H29当初	173,645	[債務負担行為額]	[1,398]		
H30予算	156,360	H29当初	173,645									
[債務負担行為額]	[1,398]											

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>			
<p>12 医薬品適正使用・環境整備 事業費 [051101]</p> <p style="text-align: right;">薬事管理課</p>	<p>安全な医薬品の流通確保及び適正使用を図るため、医薬品の使用状況等の調査・研究、品質検査を実施するとともに、薬局の地域包括ケア等への貢献や健康サポート機能の充実に向け、かかりつけ機能の強化を目指します。</p> <p style="text-align: center;">1 ジェネリック医薬品使用促進事業 2 患者のための薬局ビジョン推進事業 3 医薬品有効性確保・副作用対策事業</p>			
<p>13 地域包括ケア構築推進 事業費* [050801]</p> <p style="text-align: right;">介護支援課</p>	<p>高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らせる「地域包括ケア体制」の確立を目指します。</p> <p>(新)・市町村の在宅医療・介護連携推進事業を支援 ・中山間地域への介護サービス提供のためのモデル事業を実施 ・24時間在宅ケアの仕組みづくりのためのモデル事業を実施 ・地域ケア会議の機能強化を支援</p> <p>*要介護(要支援)認定者のうち自宅または地域で暮らしながら介護サービスを受けている者の割合:82.3%(2017年2月)→82.7%(2019年2月) (一部 地域医療介護総合確保基金)</p>			
<p>14 認知症施策総合推進事業費 [050704]</p> <p style="text-align: right;">保健・疾病対策課</p>	<p>認知症の人ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・福祉の充実と連携による総合的な支援を行います。</p> <p>(拡)・認知症疾患医療センターの整備 ・認知症施策推進協議会の開催 ・医療従事者向け認知症対応力向上研修の実施 ・若年性認知症コーディネーターの配置 ・認知症予防県民運動の推進</p> <p>*認知症疾患医療センター設置数:3カ所(2017年度)→5カ所(2018年度) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p>			
	H30予算	8,164	H29当初	7,132
	H30予算	14,179	H29当初	34,068
	H30予算	22,822	H29当初	18,373

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>			
<p>15 福祉人材確保対策事業費 [050502]</p>	<p>福祉・介護人材の確保・定着に向けて、次の事業を長野県福祉人材センター等において実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入職の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・求職者のマッチングと資格取得費用の助成 ・就職説明会の開催 ・福祉職場のPR(訪問講座、パンフレット作成等) ・福祉の職場体験 ・認証評価制度による事業者に関する情報提供の充実 2 資質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護職員への生涯研修 ・介護事業所に対する訪問研修 ・外国人介護福祉士候補者受入施設の研修実施等支援 3 労働環境・処遇の改善 <ul style="list-style-type: none"> (新)・介護ロボットの導入支援 ・施設内保育所への運営費助成 <p>*県内介護福祉士登録者数:1,700人(2018年度) (一部 地域医療介護総合確保基金活用事業)</p>			
<p>地域福祉課</p>	<p>H30予算</p>	<p>314,602</p>	<p>H29当初</p>	<p>324,314</p>
<p>16 信州あいサポート運動推進事業費 [050903]</p>	<p>誰もが暮らしやすい共生社会実現のため、障がい特性や必要な配慮等を理解し、手助けを実践する「信州あいサポート運動」を推進し、援助や配慮が必要な方が周囲に知らせることができる「ヘルプマーク」を新たに導入します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 信州あいサポート運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポート推進員の設置 ・あいサポーターの募集及び研修 ・あいサポートメッセンジャーの養成・派遣 ・あいサポート企業・団体の認定 2 ヘルプマークの導入促進 <ul style="list-style-type: none"> (新)・ヘルプマークの作成、配布 (新)・公共交通機関等と連携したヘルプマークの広報 <p>*あいサポーター数(単年):10,635人(2016年度)→12,000人(2018年度)</p>			
<p>障がい者支援課</p>	<p>H30予算</p>	<p>6,064</p>	<p>H29当初</p>	<p>3,827</p>
<p>17 障がい者スポーツ振興事業費 [050902]</p>	<p>障がい者が日常的にスポーツに親しむことができる環境を整備するため、各種大会の開催、競技スポーツの普及、一般スポーツ関係団体等との連携強化により、障がい者スポーツの振興を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者スポーツ振興事業 <ul style="list-style-type: none"> (新)・障がい者スポーツ体験イベントの開催、障がい者スポーツ環境づくり事業の実施 ・障がい者スポーツ指導員養成研修事業の実施 ・長野車いすマラソン大会、障がい者スポーツ大会(地区大会及び県大会)、県障がい者スキー大会等の開催 2 長野県障がい者スポーツ協会業務支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツ振興活動に対する助成 <p>*障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数: 16,933人(2016年度)→18,200人(2018年度) (一部 福祉基金、ふるさと信州寄附金基金活用事業)</p>			
<p>障がい者支援課</p>	<p>H30予算</p>	<p>64,223</p>	<p>H29当初</p>	<p>61,449</p>

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>			
<p>18 手話言語条例関連事業費 [050903]</p>	<p>手話言語条例に基づき、手話やろう者に対する県民の理解を促進し、手話の普及等のための各種事業を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 手話に対する理解促進事業 ろう者との交流イベント 2 手話の普及事業 (拡) 県民向け手話講座 3 手話を使いやすい環境の整備事業 盲ろう者支援事業 4 手話や文字による情報提供事業 手話定期便 5 相談体制の整備・生活支援事業 ろうあ者相談員・手話通訳者の設置 <p>*県民向け手話講座参加者数:508人(2016年度)→800人(2018年度) (一部 ふるさと信州寄附金基金活用事業)</p>			
<p>障がい者支援課</p>	<p>H30予算</p>	<p style="text-align: center;">74,210</p>	<p>H29当初</p>	<p style="text-align: right;">75,651</p>
<p>【新】 19 医療的ケア児支援体制構築事業費 [050901]</p>	<p>地域で生活する医療的ケア児を支援するため、スーパーバイザーの設置やコーディネーター等の養成など、関係機関の連携体制を構築します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携体制の構築 県及び圏域での福祉・医療等関係分野が連携・調整する「連携推進会議」の設置 2 支援体制の整備 スーパーバイザーの設置 3 支援人材の育成 コーディネーター、支援者の養成 			
<p>障がい者支援課</p>	<p>H30予算</p>	<p style="text-align: center;">1,263</p>	<p>H29当初</p>	<p style="text-align: right;">0</p>
<p>20 発達障がい者支援事業費 [050704]</p>	<p>発達障がい者がライフステージを通じて切れ目のない一貫した支援を受けることができるよう、支援体制の整備を行います。</p> <p>(新)・発達障がい診療人材育成事業 (拡)・発達障がい診療地域ネットワーク整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいサポート・マネージャーの配置事業 ・市町村発達障がい者支援体制強化事業 ・発達障がい者支援センター事業 ・発達障がい者支援体制整備事業 </p> <p style="text-align: right;">} H30.4.1県組織改正により県民文化部へ移管</p> <p>*発達障がい者サポーター養成人数: 10,000人(2017年度末見込)→12,000人(2018年度末)</p>			
<p>保健・疾病対策課</p>	<p>H30予算</p>	<p style="text-align: center;">93,686 21,448 (H30.4.1県組織改正後)</p>	<p>H29当初</p>	<p style="text-align: right;">75,128</p>

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号]</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)</p>							
<p>21 長野県社会福祉協議会 活動支援事業費 [050501]</p> <p>地域福祉課</p>	<p>社会福祉活動を振興するとともに、県民の福祉の向上を図るため、長野県社会福祉協議会が実施する次の事業に対し助成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活自立支援事業 2 福祉サービスに関する苦情解決事業 3 生活福祉資金貸付事業 4 ボランティア活動支援事業 5 住民支え合い活動支援事業 6 県社協活動基盤支援事業 <p>*ボランティア活動者数:278,812人(2016年度)→280,000人(2018年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">201,960</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">193,941</td> </tr> </table>				H30予算	201,960	H29当初	193,941
H30予算	201,960	H29当初	193,941					
<p>22 信州パーソナル・サポート 事業費 [050503]</p> <p>地域福祉課</p>	<p>様々な要因により生活に困窮している方の自立を促進するため、生活困窮者自立支援法に基づく各種事業等により、一人ひとりに適した包括的、継続的な支援を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立相談支援事業 生活困窮者の相談にワンストップ型で対応し、生活や就労を支援 2 住居確保給付金事業 離職者等の住居喪失者に家賃費用を有期で支給 3 就労準備支援事業 生活習慣の形成や社会的自立のための訓練等を実施 4 一時生活支援事業 住居喪失者へ緊急一時的に食事や宿泊場所を提供 5 家計相談支援事業 家計相談を通じて相談者の家計再生を支援 6 支援人材等育成研修事業 支援員等を対象に研修を実施 (拡)7 子どもの学習支援事業 生活困窮家庭の子どもに対して訪問による学習支援を実施 <p>*県生活就労支援センター支援による就労・増収者数: 139人(2017年度見込)→139人(2018年度) (一部 ふるさと信州寄附金基金活用事業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">153,337</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">150,476</td> </tr> </table>				H30予算	153,337	H29当初	150,476
H30予算	153,337	H29当初	150,476					
<p>【新】 23 地域共生社会推進事業費 [050501]</p> <p>地域福祉課</p>	<p>高齢、障がい等制度ごとの体制では、対応が困難な複合化、複雑化した課題に対し、世帯単位で包括的に受け止めることのできる支援体制の整備をモデル圏域で行います。</p> <p>多機関の協働による包括的支援体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援包括化推進員の配置 ・市町村におけるモデル的包括的支援の実施 ・包括的支援体制研修の実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">H30予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">8,750</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">H29当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">0</td> </tr> </table>				H30予算	8,750	H29当初	0
H30予算	8,750	H29当初	0					

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
24 再犯防止推進事業 [050501] 地域福祉課	社会的孤立に陥っている犯罪や非行をした者等を対象に再犯防止につながる支援を地域で行います。 1 地域生活定着促進事業 福祉的支援を必要とする矯正施設退所者等の社会復帰を支援 (新)2 再犯防止推進ネットワーク構築事業 福祉・司法関係者等の支援者間のネットワークづくりを推進 (新)3 生活相談窓口開設事業 犯罪・非行に係る相談支援窓口を開設 H30予算 24,750 H29当初 17,750			
25 母子保健推進事業費 [050701] 保健・疾病対策課	妊娠から子育てまでの一貫した支援を進めるため、乳幼児の成長・発達支援、若者への妊娠・出産に関する正しい知識の普及、不妊に関する相談などを行います。 1 信州母子保健推進センター事業 ・市町村への技術支援等の実施 2 妊娠・出産相談支援事業 ・妊娠・出産・育児に関する電話相談 ・高校生等若者への妊娠・出産に関するセミナーの実施 (拡)3 女性の健康ライフ支援事業 ・女性特有の心身の悩みに関する相談 ・不妊専門相談の実施 4 思春期保健事業 ・思春期特有の悩みに関する相談 ・思春期ピアカウンセラーの育成 *産後うつスクリーニング実施市町村数:69市町村(2016年度)→75市町村(2018年度) H30予算 66,479 H29当初 71,499			
26 人生二毛作社会推進事業費 [050602] 健康増進課	シニア世代の社会活動や就業を進めるため、シニア活動推進コーディネーターによる関係機関の連携・機能強化や、就業などの分野における効果的、効率的なマッチングの実施等により、人生二毛作社会づくりを推進します。 (拡)・シニア活動推進コーディネーターの配置 6人→11人 *シニア大学卒業後のボランティア活動・市民活動実施(予定)率: 38%(2016年度)→42%(2018年度) H30予算 48,197 H29当初 26,416			
【新】 27 困難を抱える子どもへの動物 介在活動による支援事業費 [051003] 食品・生活衛生課	動物とのふれあいや世話体験等を通じて、不登校など困難を抱える子どもを支援する事業を動物愛護センターから地域へ展開します。 ・動物愛護センターと市町村、支援団体等との共催の動物介在活動を県内各地で実施 ・地域での取組の基礎づくり、人材育成 ・支援団体を核とした地域での動物介在活動の実施 *参加した児童生徒の延べ人数:159人(2016年度)→前年を上回る(2018年度) H30予算 8,581 H29当初 0			